

「土砂災害を防ぐために」

岩手県 盛岡市立黒石野中学校 3年 小澤 百華

私が土砂災害と言われて思い出すのは、今年の1月1日にあった能登半島地震での土砂災害です。SNSで「おかん！走れ！」という45秒の動画をみました。その映像では山の上から土砂が降りてきて、一瞬にして家が飲みこまれ、どんどん自分たちに近づいてくる土砂に逃げることなく、ふるえる声で家族に「早く」や「走れ」など呼び続けている撮影者さんの声が聞こえました。自分も怖くて、早く逃げたいはずなのに、お母さんのために待つてあげている姿を想像すると、とても胸が痛くなりました。土砂もドロドロとした感じではなく、水のようにどんどん降りてきて、想像していた土砂とは違いました。私は動画をみただけでも怖かったのに、その場にいた人たちはどんなに怖かったんだろうと思いました。

私の住んでいる岩手では、「命てんでんこ」という言葉があります。意味は「一人一人が自分の命を守り、他の人にかまわず、てんでばらばらに逃げろ」です。しかし、この言葉は、われ先に逃げろということではありません。誰かが逃げることで、周囲の人が避難するという連鎖が起こり、自分の命の他にも救える命が増えるという意味です。この場合は、家族が生きている事を信じて、逃げます。しかし、家族が目の前にいて、土砂にのみこまれそうな状態だったら、きっと助けると思います。

私はこういう時の判断が大事だと思います。まず土砂災害には、前兆のようなものがあります。がけから小石が落ちてくる、樹木がゆれたりかたむいたりする、斜面から水がわき出る、腐った土の臭いがするなどです。土砂災害で前兆がわかっているなら、普段と違う所に気づき、逃げるという判断をすることができます。少し注意しすぎぐらいがちょうどいいと思います。

また、「100回逃げて、100回来なくても101回目も必ず逃げて」という言葉を聞いたことがあります。その通りだと思います。もしかしたら地すべりのように少しずつ動いている可能性もあります。その場合、100回少しずつ動いていって101回目に急に一気に動く可能性もあります。いつもと違う変な所があれば何回目でも逃げ続ける事が大切です。

土砂災害には、地すべりの他にもいろんな種類があります。地すべりとは、ゆるい傾きの斜面が、雨や雪解け水がしみこんだ地下水によって広い範囲にわたってすべり落ちていく現象です。もし地すべりがおきたら、土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにするとよいそうです。土石流は、大雨などが原因で、山が崩れ、水とまじってどろどろになり、一気に流れてくる現象です。土石流も土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにするとよいそうです。がけ崩れは、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。雨水ががけにたくさんしみこんだことが原因で起きたり、地震のゆれによって起きたりします。一気に大量の土砂が落ちてくるので、がけの下にいる人は、逃げおくれる人が多いです。がけ崩れが起きたらすぐに山やがけから離れるのが大切です。がけ崩れは、特に早期避難が必要です。もし逃げおくれそうになったら、がけよりも2倍高い所にのぼればよいそうです。このように、それぞれの土砂災害に逃げ方があるので、その時の判断が大事になってきます。

また土砂災害などの災害では、嘘の情報が回ることがあります。能登半島地震では、被災者と装った「助けてください」などの収入を目的とした嘘の情報を流すという事が起こりました。また、架空の住所と名前が添えられて投稿しているケースもありました。実際に地震が起きた1月1日に数千万単位の投稿があったそうです。今回のように自分が被災者でない場合は、本物の情報か、嘘の情報かを見分けて判断することが大事になってきます。

これらの事をふまえて、私は、土砂災害では判断が大事になっていくと思います。もともと知っている事があったら地すべり、土石流かがけ崩れかを判断し、いち早く行動することが大切です。SNSを見る場合は、嘘の情報か本当の情報かをみきわめて行動しなければいけません。

私の住んでいる所は、土砂災害が起きる場所ではないですが、いどこで何が起きるかわかりません。そういう時に、自分の命、家族の命そして、周りの人の命を守るためにすばやい判断をしていきたいです。